

【アメリカ】東アジアにおける海事紛争及び主権問題に関する公聴会

海外立法情報課・高木 綾

* 2009年7月15日、上院外交委員会の東アジア及び太平洋問題小委員会において「東アジアにおける海事紛争及び主権問題(Maritime disputes and sovereignty issues in East Asia)」と題する公聴会が開かれ、ウェブ小委員長による開始演説の後、5名が証言を行った。そのうち、小委員長及び日本に言及した3名の発言内容を紹介する。

開始演説: ジム・ウェブ小委員長

ジム・ウェブ(Jim Webb)小委員長(民主党、ヴァージニア州)は、公聴会の目的を、この地域における領土紛争の歴史的背景及び現在の諸問題を概観することであると述べ、この地域で活動する米国艦船の航海の自由に及ぼす影響、東南アジア諸国の主権が受ける影響、並びに米国及びASEANのような組織が紛争解決において果たすべき役割について検討するとした。ウェブ小委員長が繰り返し述べたのは、この公聴会が、中国を非難するためのものではなく、この問題を前向きに扱うことを意図するものであるということである。日本に関しては、第2次世界大戦終結以降、尖閣諸島が日本の管理下にあり、米国を含む他国が当該諸島に対する日本の主権を承認しているにもかかわらず、中国は未だにその領有権を公的に主張しており、さらに中国共産党は沖縄を含む琉球諸島に対する日本の主権を公式に承認していないと述べた。

(1) スコット・マーシェル 国務副次官補

スコット・マーセル(Scot Marciel) 東アジア及びASEAN問題担当国務副次官補は、①南シナ海の領有権問題、②国際水域における中国及び米海軍艦艇の活動を含む中国の排他的経済水域内における最近の事件、③これらの戦略的文脈及び米国がいかに対応すべきか、の3点を論じた。その中で、日中間には東シナ海における排他的経済水域や尖閣諸島の領有権問題について見解の相違が存在することを述べた。これらの紛争は、南シナ海のものと比較すると注目度が低い、国家主義的な感情が先鋭化すれば、すぐにエスカレートしてしまうため、全ての海洋紛争の展開に対して米国は監視を続けると述べた。

(2) ピーター・ダットン 米海軍大学准教授

ピーター・ダットン(Peter Dutton)米海軍大学准教授は、①中国の南シナ海における法的要求及びその要求を主張する活動は米国の地域的及びグローバルな海洋利益に対する挑戦となること、②中国は南シナ海における領有権の主張を根本的に交渉によって解決できないが併合は間近であるとみていること、③中国は発展途上の海洋大国であるが、その海洋進出は、海外派遣のための海洋力というよりむしろ、中国の大陸戦

略の関心からの海洋機能の強化として特徴づけられること、④米国は自国の防衛及びグローバルな海洋システム全般の安全保障に必要となる、地域的及びグローバルな海上交通を確実なものとするため、海洋における新たなリーダーシップを発揮するべきであること、の4点について論じた。同准教授は、中国は尖閣諸島の領有権問題に関して、曖昧にしたまま時間を稼ぎ、やがて中国が日本より強い立場となる状況を待ってから権利を主張するであろうと予測し、南シナ海の領有権の問題についても同じアプローチを採るであろうことなどを指摘した。また中国の平和的な台頭に関して、特に日本において懐疑論があるとし、短・中期的に、米国海軍の制海権に対し挑戦するような中国海軍の建設については、中国の政策決定者レベルで同意されたという兆候はないとした。

(3) ダン・ブルメンソール AEI レジデント・フェロー

ダン・ブルメンソール(Dan Blumenthal)アメリカン・エンタープライズ公共政策研究所(AEI)レジデント・フェローは、中国は大国化するにつれ、「制海権」や海洋力が国際商業的利害とどのように結びつくのかという問題に取り組み始めたが、全ての台頭国が見せるようなこうした動きについて安心してはならないと述べた。なぜなら、現在のアジアの安定は米国の軍事力及び安全保障のコミットメントによるものであり、中国の台頭はこうした安定を揺るがすものであり、不安定になった地域におかれた諸国家は、通商、国内改革及び地域協力よりも、安全保障上の競争に関心を示すようになるためである。このような文脈における日中間の領土紛争は最も悩ましく、また危険であると指摘した。この日中紛争は、①大国間競争、②歴史的敵対、③海洋エネルギー開発への動機、④台湾問題処理への懸念に基づいていると述べ、それぞれについて詳細な説明を加えた。

注(インターネット情報はすべて2009年10月13日現在である。)

- Hearing on Maritime Disputes and Sovereignty Issue in East Asia, before Subcommittee on East Asian and Pacific Affairs, Committee on Foreign Relations, United States Senate, July 15, 2009.
<<http://foreign.senate.gov/hearings/2009/hr090715p.html>>
- Opening Remarks of Senator Jim Webb, Chairman.
<<http://webb.senate.gov/newsroom/record.cfm?id=315847&>>
- Testimony of Deputy Assistant Secretary Scot Marciel, Bureau of East Asian & Pacific Affairs, U.S. Department of State.
<<http://foreign.senate.gov/testimony/2009/MarcielTestimony090715p.pdf>>
- Testimony of Peter Dutton, Associate Professor, China Maritime Studies Institute, U.S. Naval War College.
<<http://foreign.senate.gov/testimony/2009/DuttonTestimony090715p.pdf>>
- Testimony of Daniel Blumenthal, Resident Fellow, American Enterprise Institute.
<<http://foreign.senate.gov/testimony/2009/BlumenthalTestimony090715p.pdf>>